

例 会 の お 知 ら せ

10 月 の 例 会

気 象 統 計

日時：昭和34年10月2日（全）午後1時より

場所：気象庁第1会議室

主題：気象統計

第2部講演題目

一般講演

増山元三郎（気象研）：最近の統計学の発展と気象学
(60分)

気象現象の統計法に関するシンポジウム

1. 柏木力（気象研）：多変量解析について (20分)
2. 高橋浩一郎（長期予報）：思考実験による気象統計 (20分)
3. 藤田敏夫（気象研）：統計予報における問題点 (15分)
4. 小原正己（東大女）：予報の情報量とO. R. (15分)
5. 寺田一彦（海気象部）：気象機関の運営に関連した統計的問題 (10分)
6. 齊藤練一（統計）：統計学の理論と気象資料の統計的処理とのギャップについて (15分)

関東中部地区気象研究会（東京管区気象台と共催）

日時：昭和34年10月14日（水）および15日（木）午前9時より

場所：名古屋市中区伊勢町1の3水産会館（市電大津橋下車 名城小学校東隣）

気 象 災 害

日時：昭和34年10月23日（金）午前9時30分より

場所：気象庁第1会議室

主題：気象災害

第2部講演題目

一般講演

1. 奥田穰（長期予報）：台風と災害の分布 (20分)
2. 荒井隆夫（統計）：災害面から見た農作物の収量について (20分)
3. 渡辺次雄（研修所）：災害の純粹理論の可能性について (20分)
4. 高橋浩一郎（長期予報）：災害の長期変動 (20分)
5. 渡辺和夫（気象研）：災害の局地性 (20分)
6. 根本順吉（長期予報）：渡辺次雄氏の「気象災害の学的体系について」批判 (20分)
7. 肥沼寛一（予報部）：災害の変化 (20分)

台風災害に関するシンポジウム

実地調査を基にして、社会科学、自然科学の両面から具体的に討論

○第5回原水爆禁止世界大会に集まった科学者のアピールについて（矢野直氏提案）

11 月 例 会 予 告

風 の シンポジウム（他学会と共催）

日時：昭和34年11月16日（月）および17日（火）午前10時より

場所：気 象 庁
内容：研究発表

総合講演

懇 親 会

第2部 研究発表講演申込*

締切：昭和34年9月21日

宛先：東京都千代田区大手町

気象庁観測部測器課 竹内清秀

12 月 例 会 予 告

気象電気シンポジウム

日時：昭和34年12月7日（月）午後1時30分より

場所：気 象 庁

主題：気象電気

第2部研究発表講演申込*

締切：昭和34年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4の499

気象研究所内 三崎方郎

I G Y に関する講演会

日時：昭和34年12月11日（金）午前9時30分より

場所：気 象 庁

主題：I G Yに関する講演会 午前 一般部門
午後 気象部門

第2部研究発表講演申込*

締切：昭和34年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4の499

気象研究所内 武田 武

* 第1部 一般研究発表 毎月の例会に行いますから講演題目、所要時間、アブストラクトをつけて下記へ申込まれたい。
宛先 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎